

一 般 質 問



第2回奥尻町議会定例会において、1名の議員から一般質問がありましたので、その質疑応答の概要について紹介します。

制野 征男議員



サーモン養殖事業の課題と今後の展望は

質問

①群馬のスーパーが当該事業の見送りをした背景についてどのような分析をしていますか。

②奥尻島サーモン養殖事業の施設整備計画案は令和10年度以降についても町の補助金やふるさと納税を充当する意向でしょうか。

③江差港でのひやま漁協や江差町のニジマス養殖について1千万円の道補助を

受けるとありますが、本町における道補助金の可能性はありますか。

④今後、販売面では競争が激しくなる養殖事業ですが、本町におけるトラウトサーモン押出の目玉はどこに置いていますか。

⑤当該養殖事業の経済効果を高める手段として、島内における加工によって働く場所の確保等の展望を持つことが重要ですが、具体的な動きはあるのですか。

財源を確保し「奥尻ブランド」として知名度向上を図りたい

町長答弁

①5月24日に総務産業常任委員会で、株式会社ベイシアの当該事業への見送りを担当課から報告しましたが、今回の養殖結果や、今後の事業計画が見えていな

かったことが要因と分析します。

②施設整備は令和8年度に完了予定で、今後の施設補修や施設更新が必要となることから、町補助金や「ふるさと納税」を財源として充当していきたいと思っております。

③名称は「日本海漁業経営基盤安定強化事業」で、養殖施設整備費等に補助率が2分の1です。同じ北海道補助金で、「地域づくり総合交付金」も補助率2分の1でハード・ソフト事業に支援され、双方の補助金とも、当町でも補助採択の可能性ががあります。

④具体的には、奥尻ワインの搾りかすや、地酒「奥尻」の酒粕を餌に混ぜることを検討しています。「奥尻ブランド」として知名度を活かして販売できればと考えております。また、今

回のウクライナ危機により、サーモンの価格が上昇していることから、今後サーモンの需要が増えると予想されており、

⑤今回は数量が少なく島内加工は考えていませんが、数量が増えてくれば島内加工は必要と考えます。加工業者と相談していき



**江差港岸壁工事で
代替地用意も満車
更なる駐車場の確保を**

6月7日時点ですでに用意されている代替駐車場は満車の状態にありますが、この実態に対する認識を聞きます。

これからの観光シーズンと大型公共工事を迎える中で、さらなる代替駐車場の確保が必要との認識でいますか。

代替駐車場の確保策として、江差観光みらい機構付近の港湾用地とカランセ検査時における稚内のフェリーが接岸する港湾用地の確保について、江差町等との協議の必要があるのではないのでしょうか。

**一部駐車エリアの拡大
により観光客にも対応**

町長答弁

当初予定していた代替駐

車場は、すでに満車の状態にあることは認識しており、先般工事発注者の北海道開発局、また港湾管理者の江差町に代替駐車場の拡大を要望したところでは

現在駐車禁止エリア用地の一部について、使用することができるとの連絡がありましたので、今後住民に周知を行ってまいります。

これで、5月までの面積と同程度の面積が確保できたことから、観光客の駐車にも対応できると思っております。



**谷地の道道拡幅による
住宅解体が迫る
関係住民と速やかな協
議の場を**

先の議会でも指摘しましたが、移転を余儀なくされている住民によって町営住宅建設への要請書が提出されていることから、関係住民による寄付行為での建設について質問します。

①秋までに一部住宅が解体する実態にあることは承知していますか。

②移転という特殊事情から町営住宅建設の意向はないのですか。

③道道拡幅の移転から、移転補償費が支給されることから、建設費への寄付という特殊なケースへの検討を求めましたが、配慮の余地はないのですか。

④谷地地区に引き続いて住みたいという心情の配慮からも、防衛省所有の適地があることは考慮の外にあるのですか。

⑤移転を余儀なくされている関係住民との協議の場は持たないのでしょうか。

**動向を注視し関係住民
と各種調整を進める**

町長答弁

①函館建設管理部奥尻出張所から、5月末に第1工区の物件補償に対して、今年度予算が確保できた旨を、建設水道課が報告を受け承知しております。

対象住民との契約の進捗状況や、解体などのスケジュールは未だ情報は入ってきていません。

②移転の対象者のうち、町営住宅への転居を希望の方は、奥尻地区をはじめ町